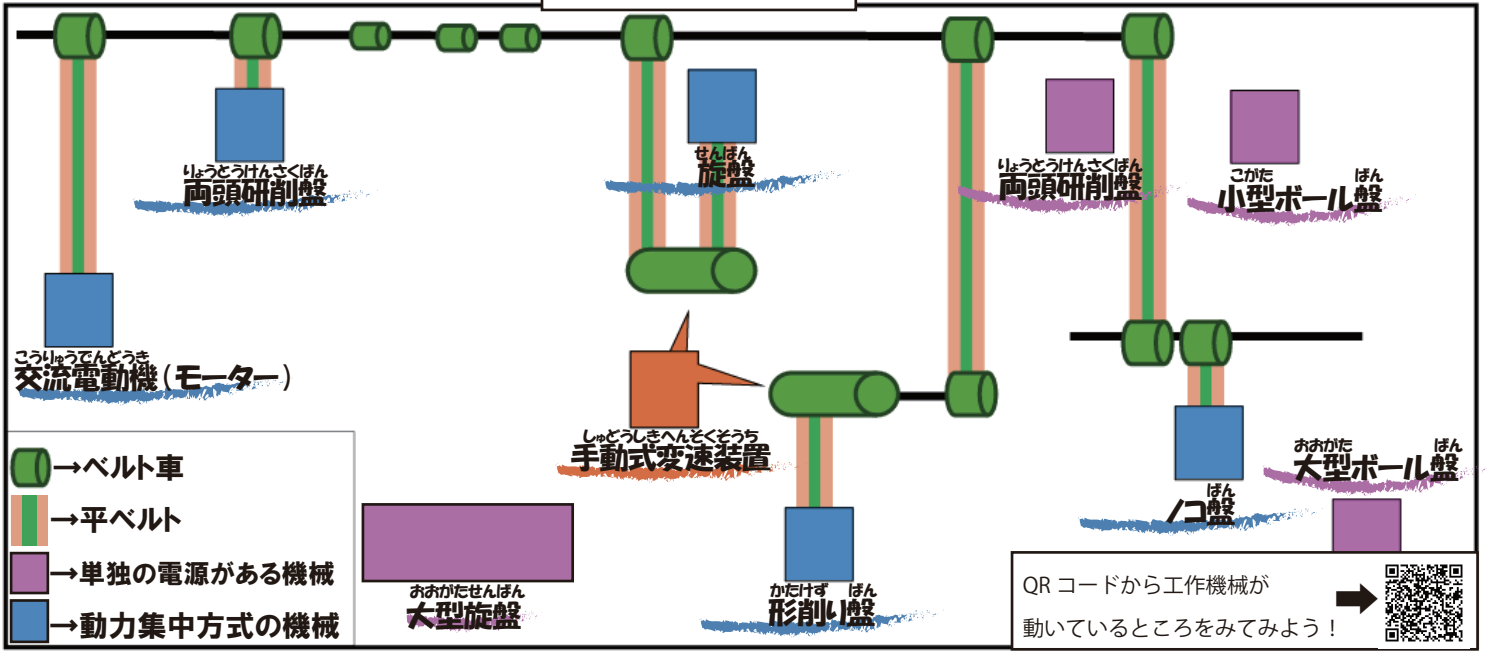


車両整備のための工作機械群 パート1

前回、“くりでん職員の安全意識”というテーマを扱いましたが、くりでんには車両の安全を守るために使われる設備がそろっていました。今回はその中でも“工作機械”に注目し、くりでんとの関わりに触れながら数回に分けて見ていこうと思います。

工作機械群の全体図



Q1、工作機械とは？

工作機械とは、金属を切ったり削ったり磨いたりして、いろんな形に変える機械のことです。くりでんミュージアムには6種9機もの機械があり、これらを使って車両の部品をキレイにしたり、部品や工具を作ったりしていました。



工作機械の例 “ノコ盤”
刃がノコギリのように前後に動くことでかたい金属を切ることができる機械

Q2、どのように動いている？

図の左側にある“交流電動機”が高速回転することで、つながっている“平ベルト”と“ベルト車”が回転します。そして、機械にも回転する力が伝わることで、図で青く示している機械がすべていっせいに動きます。この仕組みを“動力集中方式”といいます。

Q3、なぜモーターが1つだけ？

昔は電動機の値段が高かったため、機械1つ1つに付けることができませんでした。そのため、1つの電動機から効率よく多くの機械を動かすために、この方法が採用されました。

今年度は工作機械を動かすイベントを月に1回行っています！

次回予告

車両整備のための工作機械群 パート2

【くりでんミュージアムへの問い合わせ】
TEL:0228-24-7961
FAX:0228-24-7962
メールアドレス:info@kuridenpark.com